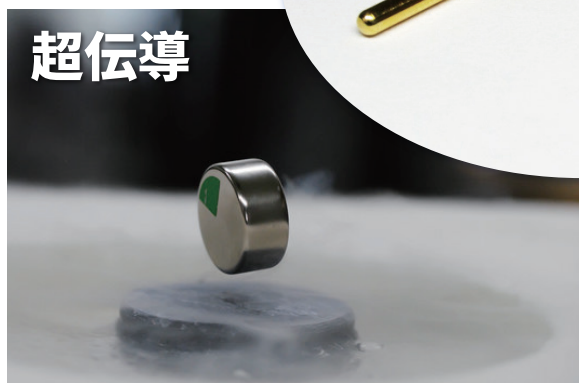


極低温用温度センサ

4K(−269℃)までの極低温域を高精度測定

Model R800-6、R800-7



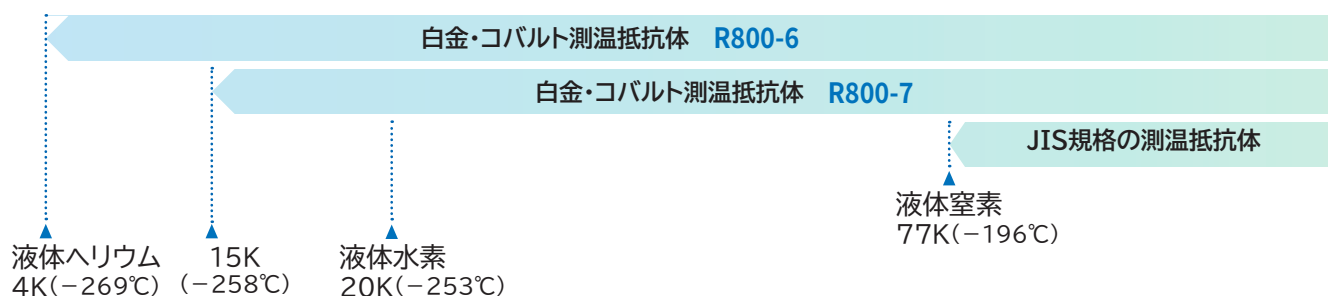
高精度で高い互換性をもつ温度センサ

高精度であるため個別校正なしでも使用でき、交換作業は温度センサの取り換えのみで完了します。

白金・コバルト測温抵抗体は極低温域まで温度測定が可能

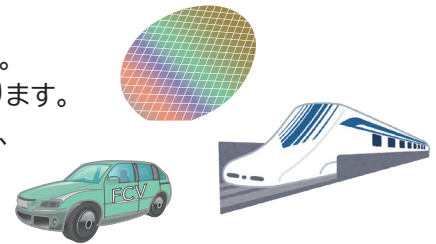
4K(−269℃)まで使用できるため、超伝導分野の研究や液体ヘリウム温度の測定などにご活用いただけます。

極低温用温度センサの測定温度範囲



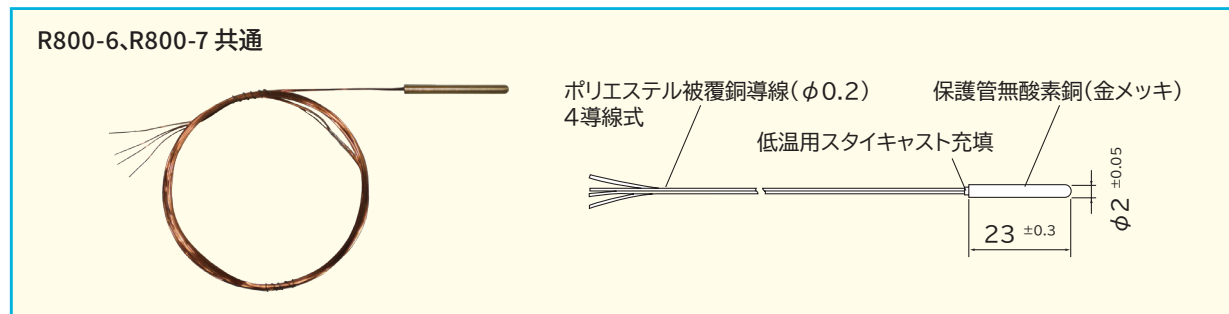
極低温域の測定に対応するチノーの温度センサ

JIS規格における「Pt100測温抵抗体」の測定温度下限は -196°C です。
さらに低い温度を測定するためには、極低温用の温度センサが必要になります。
株式会社チノーは、超伝導の研究・開発や高真空が求められる半導体関連、
液化水素の温度管理など、様々な分野で納入実績のある温度センサを
ご用意しております。



白金・コバルト測温抵抗体 R800-6、R800-7

極低温域での温度特性を改善し、 4K (-269°C) から常温まで測定が可能です。



形式	R800-6、R800-7
感温エレメント	白金コバルト希薄合金
測定温度	4K~375K (R800-6) 15K~375K (R800-7)
0℃の抵抗値	$100\Omega \pm 0.15\Omega$
許容差	$\pm 0.5\text{K}$
測定電流	1mA DC
再現性	10mK以内

極低温域における温度標準

極低温域の温度標準は、国際温度目盛 ITS-90 で定義されています。
極低温用温度センサは、国立研究開発法人産業技術総合研究所の
国家標準と比較・評価された当社製の標準器 (R800-4) を基に
製造されています。

R800-4は各国の標準研究機関に納入実績がある、
高い信頼性を有した極低温用標準温度センサです。



※本製品は、
国立研究開発法人産業技術総合研究所の
技術コンサルティングの成果を活用しています。

